

科目名	対象学科・学年 文学部日文4回生	担当者
演習Ⅱ		高橋 圭一
授業テーマ 近世文学の基礎的研究——翻刻と注釈——。		
授業の概要と目標 本学の図書館が大量に所蔵している近世文学のマイクロフィルムの中から、未翻刻の黄表紙・合巻（明治合巻でも可）を選び出して翻字し、漢字をあて、注釈を施します。今年は、一つの作品の注釈に十分な時間をかけて、活字化されたものに遜色のないような注釈を付けることを目標とします。なお、大学院進学希望者には翻刻と注釈だけでなく、近世小説に関する論文を書くことを課します。		
評価方法 出席と翻刻・注釈の出来具合で評価します。私を頼りすぎた人の評価は、当然低くなります。		
テキスト マイクロフィルムを一枚十円でコピーしてください。	著者	出版社
参考書 『江戸語の辞典』（注釈の必需品です。各自購入してください） 『くずし字解読辞典』（翻字の必需品です）	著者 前田勇 児玉幸多編	出版社 講談社（学術文庫） 東京堂出版
授業スケジュール・内容 1、3回生時の続き（終わっていなかったの…。『江戸生艶気樺焼』。 2、 " 3、翻刻作品の選択とコピー。（於図書館マイクロフィルム室） 4、 もう一度。 5、卒業研究作成に必要な工具書類の紹介。（於図書館） 6、作品翻字。 7、 " 8、 " 9、 " 10、 " 11、 " 12、 " 13、 " 14、 " 15、 " 16、漢字をあて終わった作品に、それぞれ担当者を決めて注釈を加える。 17、 " 18、 " 19、 " 20、 " 21、 " 22、 " 23、 " 24、 " 25、 " 26、卒業研究作成のための個別指導（原則として、必要とする人のみですが、こちらから進捗状況を尋ねる場合もあります。個人研究室ではなく、セミナー室で行います）。 27、 " 28、 " 29、 " 30、卒業研究提出とその報告。締め切り前日までには必ず提出しましょう。		